

千葉市立病院改革プラン（第4期）の骨子（案）

1 現状の課題

経営状況の悪化

- ◆ 医業収支比率の悪化
- ◆ 累積欠損金の増加

(単位: 百万円、税込)

	H25	H26	H27
医業収益	13,991	14,675	15,249
医業費用	17,692	18,753	19,566
医業収支	▲ 3,701	▲ 4,078	▲ 4,317
医業収支比率	79.1%	78.3%	77.9%
累積欠損金 (税抜)	▲ 2,612	▲ 4,449	▲ 4,817

質の高い医療を継続的に提供するには
経営の健全化が急務

経営管理体制

- ◆ 部署（診療科・班等）ごとのプラン達成のための目標設定が必要
→ プランに掲げた収益等の数値目標や取組みのブレイクダウンと進捗管理
- ◆ プランに基づく戦略（収益の増加・費用の削減策）の推進体制の整備が必要
→ 業務の見直し・局の所掌事務の見直し、責任者の選任が必要
- ◆ 組織間（病院・局課）のコミュニケーションの強化が必要
- ◆ DPCデータの分析結果の十分な活用が必要

経営管理体制の強化
業務の効率化
人材の育成

人的資源管理

- ◆ 人材の確保面
・ 新たな専門医制度により、市立病院の医師確保が一層厳しくなることが予想される
- ◆ 人材の育成面
・ 事務職員の人事異動による専門性（医事・病院経営）の蓄積が必要
- ◆ 職員による組織貢献に対するインセンティブの付与が必要

市立病院の持続・発展のための人材の充実

医療安全体制の充実

- ◆ 医療安全体制の検証・改善
心臓血管外科の死亡事案による同科の手術停止のために、市民に対しても、病院経営に対しても大きな影響を与えた。今後出される第三者検証委員会による意見を踏まえ、局全体としての医療安全体制の検証・改善が必要

安全・安心な医療の提供

2 プラン骨子（案）

使命

- 1 市民が必要とする安全・安心な医療を一人でも多くの市民に提供する。
- 2 健全な病院経営を確立し、持続発展させる。

(第3期プランの使命を引き継ぐ)

経営の健全化

収益の増加

- ① 求められる医療の提供 (資料「2-4」参照)
- ② 地域医療連携の強化
- ③ 診療報酬制度下における診療報酬の確保 等

費用の削減

- ① 経費の削減
- ② 材料費の削減

経営管理体制の強化

- ① 組織間で連携・調整を図りながら、プラン達成のための目標管理の徹底
- ② 経営改善推進体制の整備
- ③ DPC分析ツールの活用

市民が必要とする医療の提供

市民に求められる医療の提供

両市立病院で、継続的に地域医療を担うとともに、特色ある医療を提供する (資料「2-4」参照)

患者中心の医療の提供

- ① 患者満足度の向上
- ② ホームページ等の広報の充実
- ③ 市民公開講座の開催の充実
- ④ 外国人対応 (オリンピック・パラリンピック)

安全・安心な医療の提供

医療安全

医療安全体制の検証・改善

災害対策

災害対策の充実

業務の効率化

プラン（戦略）を達成させるための業務の効率化・所掌事務の整理

市立病院の持続・発展のための人材の充実

人材の確保

- ① 医師の確保策の検討
- ② 医事・病院経営の専門性を持った事務職の採用 (非常勤嘱託を含む) 検討

人材の育成

- ① 人材育成方針・人材育成計画に基づく行動計画の策定
- ② 収益増・費用削減のための研修会の開催

やりがいのある職場づくり

- ① 組織貢献に対するインセンティブの付与の検討
- ② 職員満足度の向上

注記: 「矢印」は各取組みの関連性を示している。